

- ⚠️ ご注意** ※ご購入時は鍵がかかっておりません。製品内に鍵が入っております。鍵は必ず本製品以外のところに大切に保管しておいてください。
- ※防水性能がある製品は、本体とフタの間に特殊なパッキンを使用しております。密閉性が高いため、ご購入直後や長期間使用していない時は開閉しにくくなっている場合があります。
 - ※保管庫のフタを閉める際には、施錠（鍵が縦）状態のまま閉めないでください。保管庫の故障の原因となります。
 - ※保管庫のフタの開閉は静かに行い、指はさみに十分ご注意ください。勢いよく開閉するとほかのものを傷つけたり、保管庫の故障の原因となります。
 - ※防水性能がある製品は、ラッチが外れている状態では、当製品の防水効果は発揮されません。使用後は必ずフタを閉じ、施錠して下さい。

仕様について

- フタ・底面・正面パネル部分のくぼみ（凹み）について
フタ・底面・正面パネル部分にいくつかのくぼみ（凹み）のようにみられる箇所がございますが、商品の製造工程上、回避することができないものです。商品の性能や使用上には問題はありません。
- フタと本体の隙間について
製品の構造上、フタと本体の間に隙間があり閉まっていないように見えますが、鍵を開けてフタが開かなければ完全に閉まっている状態です。商品の耐火・防水性能には問題ありません。

鍵穴の状態（施錠時と解錠時の違い）

※いずれかの鍵が製品に付属しています。

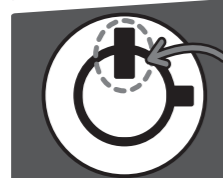
フラットキーの場合



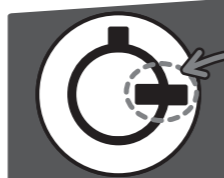
チューブラーキーの場合



拡大図

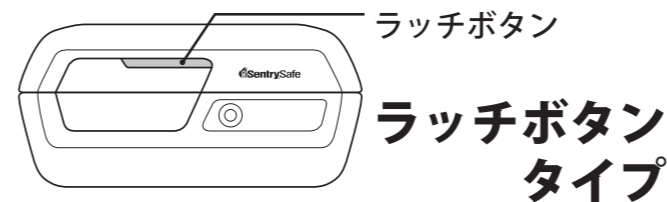


鍵が閉まっている時は点線内の部分は「タテ」※タテの切れ込みが長い



鍵が開いている時は点線内の部分は「ヨコ」※ヨコの切れ込みが長い

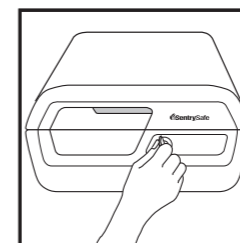
フタの開閉方法



CW3 シリーズ

開け方

- 1 鍵を鍵穴に差し込み、軽く前方に押しながら右方向に90度回してください。

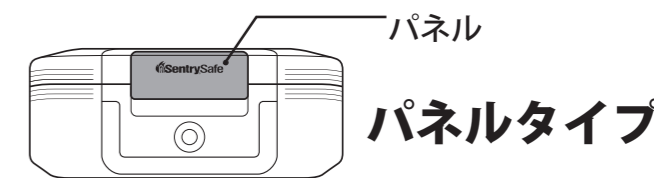


- 2 手指でラッチボタンを押し上げると「カチッ」とラッチが外れます。フタを持ち上げてください。



閉め方

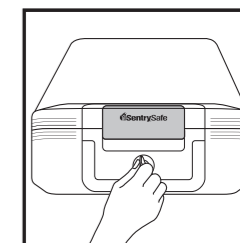
- 1 手でフタを押し込んでください。フタが持ち上がらないことを確認してください。
- 2 鍵を鍵穴に差し込み、軽く前方に押しながら左方向に90度回して抜き取ってください。
- 3 ラッチボタンが作動しないことを確認してください。



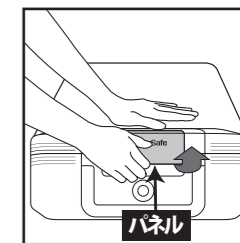
CW2 シリーズ

開け方

- 1 鍵を鍵穴に差し込み、軽く前方に押しながら右方向に90度回してください。



- 2 手指でパネルの下側部分を手前に引くと「カチッ」とラッチが外れます。フタを持ち上げてください。



閉め方

- 1 手でフタを閉めてパネルの下側を前方へ押し込んでください。フタが持ち上がらないことを確認してください。
- 2 鍵を鍵穴に差し込み、軽く前方に押しながら左方向に90度回して抜き取ってください。
- 3 パネル部分が作動しないことを確認してください。

※一部、内圧により開きにくい場合があります。

※冠水した製品を引き上げたあとは、乾いたタオルなどで水分を十分にぬぐい取ってください。フタと本体の隙間にも細かな水滴が付いている場合があります。ご注意ください。

※開きにくいときは、片手でフタの中央手前側を押しながら、開け方の②の手順を試してください。(右図参照)

